

令和5年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立青嵐中学校

●全国学力学習状況調査（中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	4ー 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）	71.8	ほぼ全ての観点で全国・都の平均を上回り、国語の基礎的な知識・理解が定着していると考えられる。また、記述式の問題について正答率の高さが顕著であり、対話的な学びや説明を重視した学習の成果が見られる。	4ーは、全国・都平均ともに下回っている。現代仮名遣いを現代語訛と勘違いしていると考えられる誤答があることから、「何を問われているか」を正確に把握していない生徒が多いと想定される。問いを正確に把握することや、語句の意味を正しく理解することを重点的に指導していく。 1二も、全国・都平均ともに下回っている。意見と根拠など情報と情報の関係を適切にとらえる指導の工夫が必要である。理解したことを友達と確認したり、教え合う活動を取り入れて、定着を図る。
	1二 インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	60.1		
数学	2 空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	25.8	7（2）箱ひげ図の箱に着目して説明するは、全国より8.1ポイント上回っている。思考・判断・表現/記述式の問題において正答率が高く、説明を重視した学習の成果が見られる。	1 自然数を選ぶ問題では、正答率が全国・都平均を下回った。解答類型99の割合が高いことから、「自然数」の語句の意味を正確に理解していない生徒が多いことが考えられる。国語と同様、語句の意味を正しく理解することを重点的に指導していく。 7（2）は正答率が高い一方で、無回答率が24.5ポイントと約4人に1人が空欄であると分かった。演習を増やし解法を丁寧に教え、難しいと思う問題にも、あきらめず粘り強く取り組む生徒を増やしていく。
	1 -5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ	40.5		
	7（1） 1961年～1975年の四分位範囲を求める	62.6		
	7（2）複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	41.7		
英語	8（2） ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	17.3	情報を正確に聞き取ることについては比較的できている。また、日常的な話題について、読み取ることができている。また、日常的な話題について、まとまりのある文章を書くことができる。	5（1）「読むこと」について、概要を捉えることができても、内容を表しているグラフを選択するなどの読み取りまではできていないので、正確に理解するための練習問題に取り組む。また、ペアやグループでの話し合いを通して多様な意見やその英語での表現方法を学ぶ機会を多く設ける。
	5（1） ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	55.6		
	2 忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	62.3		
	9（1）①与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	21.6		